

平成19年10月1日

中央環境審議会循環型社会計画部会における日本商工会議所意見

日本商工会議所環境小委員会委員代理
中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会
容器包装の3R推進に関する小委員会委員

宮田 勉

(1) 商工会議所とは

- ・ 各地商工会議所
- ・ 日本商工会議所

(2) 各地商工会議所および日本商工会議所における循環型社会推進に向けた取組み

- ・ 容器包装リサイクル制度の推進
- ・ 各地商工会議所の取組み
- ・ 日本商工会議所の取組み

(3) 循環型社会形成推進基本計画に対する意見

- ・ それぞれの事業所の自主性を尊重し、中小、零細企業の実態に合わせた、シンプルな内容にすべき。
- ・ 現場の意見を反映し、地域の雇用と経済を支える中小・零細企業にとって事業継続が可能となるよう、また、過度な負担がかからないような内容にすべき。

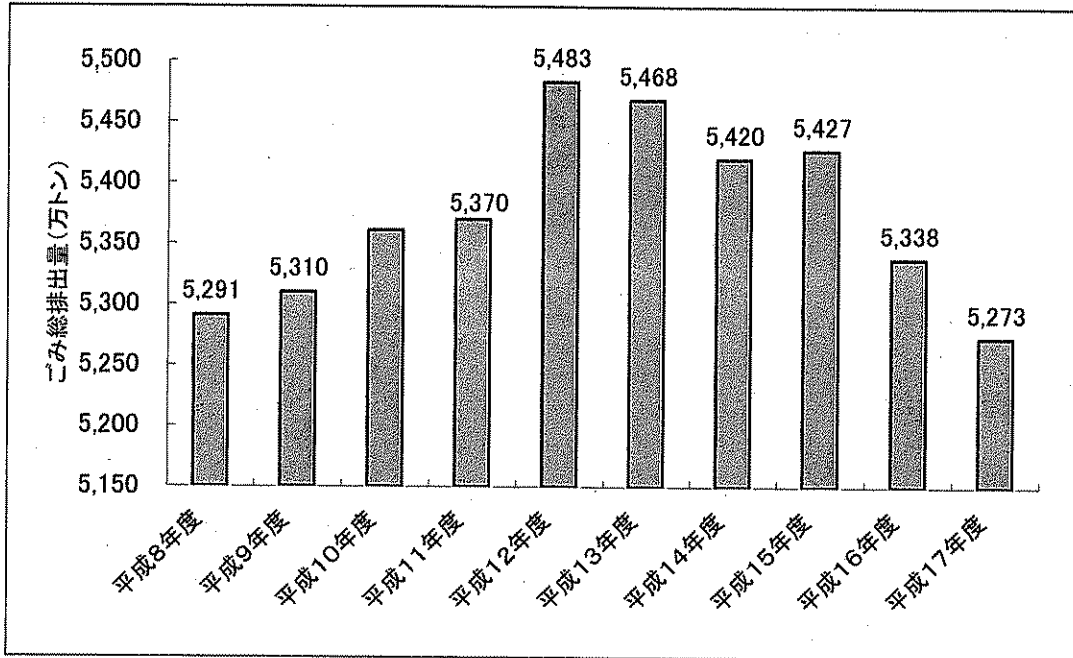
以上

(2) 各地商工会議所における循環型社会推進に向けた取組み

① 容器包装リサイクル制度の成果

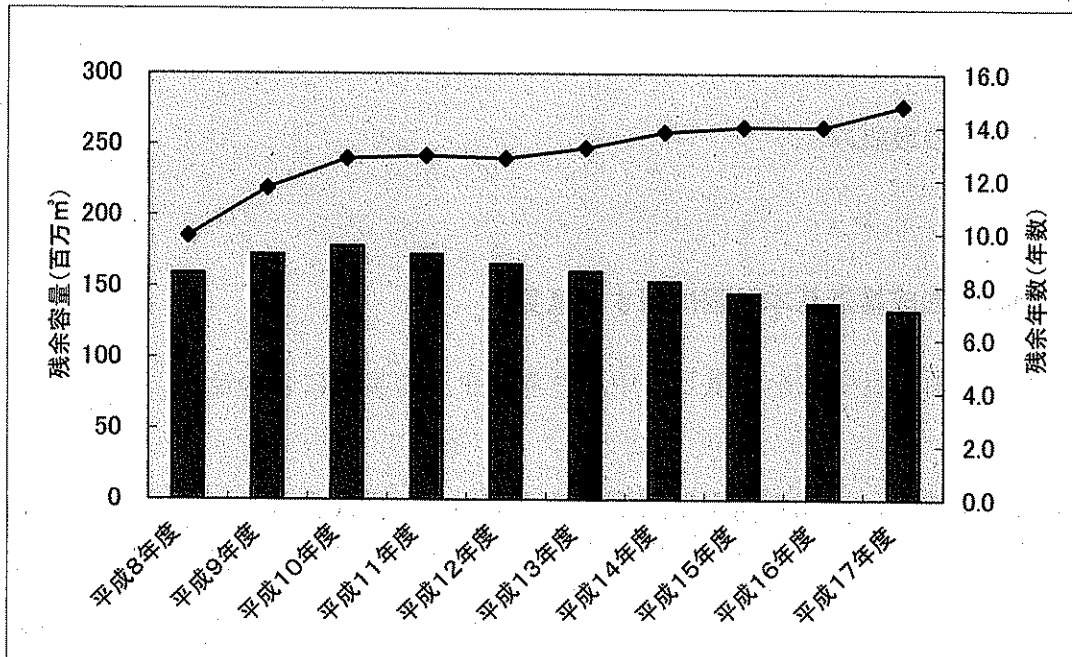
- i. 一般廃棄物処分量減少
- ii. 処分場残余年数の増加

ごみ総排出量の推移



出典:環境省「一般廃棄物処理事業実態調査(平成17年度実績)」

一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数の推移



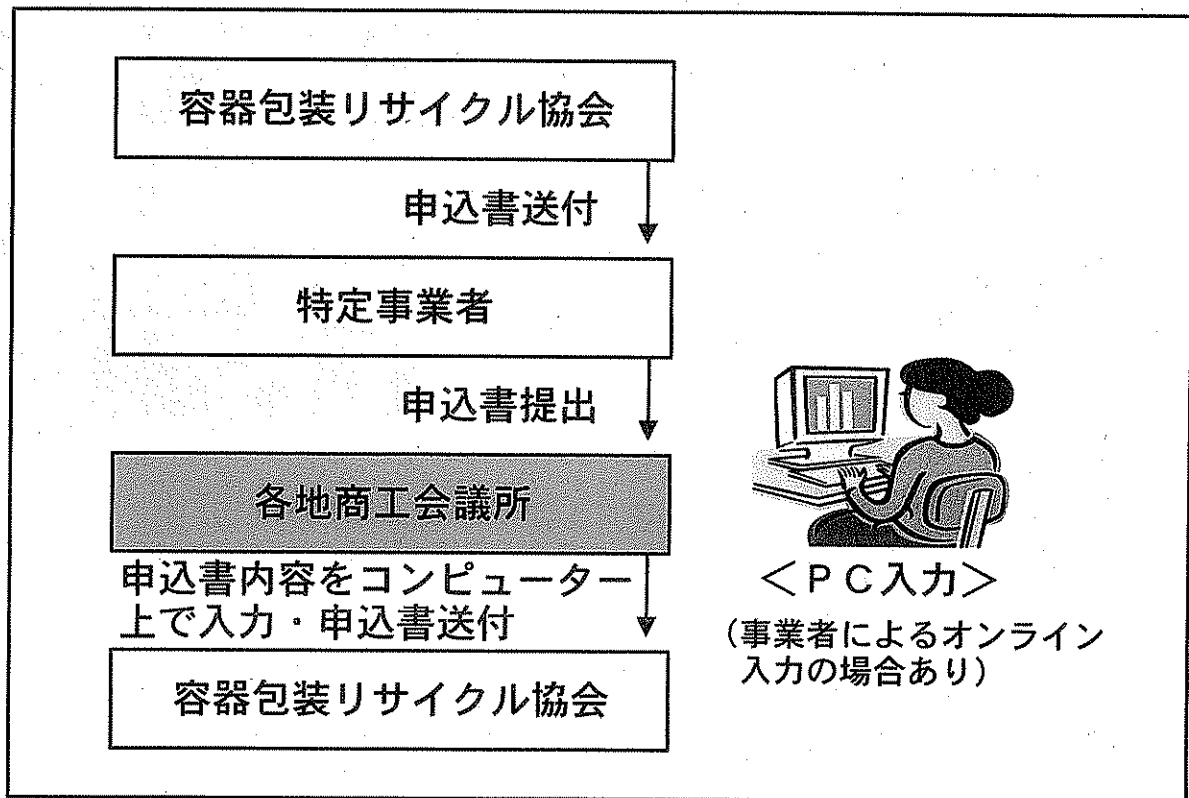
出典:環境省「一般廃棄物処理事業実態調査(平成17年度実績)」

② 商工会議所の役割

- i. 再商品化処理の申込事務の委託
- ii. 容器包装リサイクル制度の普及啓発

特定事業者（再商品化の義務を負う事業者）による 再商品化処理の申込事務の流れ

【委託契約申込】



容器包装リサイクル制度の普及啓発について

各地商工会議所において、部会等広く会員が参加する会合等を活用。容器包装リサイクル制度関連資料（再商品化義務、特定事業者自己判定、従業員及び家族向け意識喚起等）の配布により、制度の普及啓発を図る。

その他、事業者からの問合せ対応や、パンフレット等の配布、会報への関連記事の掲載などを行う。

エコ・シティ茅ヶ崎マイバッグ推進会議

エコ・シティ茅ヶ崎マイバッグ推進会議とは

地球環境や資源の保護が叫ばれる中、「エコ・シティ茅ヶ崎」を目指して、消費者並びに事業者が、マイバッグの推進を通じて環境・資源保護に努めることを目的として、平成15年4月に下記5団体により組織されました。

茅ヶ崎市・茅ヶ崎市商店会連合会・茅ヶ崎商工会議所・茅ヶ崎市大型店連絡協議会・茅ヶ崎市消費者団体連絡会

これまでの活動

当初、毎月5日を、平成16年度からは毎月5・15・25日を「マイバッグデー」に定めて、マイバッグの持参（レジ袋の削減）を訴えています。

毎年「ちがさき環境フェア」「消費生活展」などに出席し、マイバッグデーや会の活動についてのPRを行っています。

また、平成15年7月1日から20日までの期間、マスコットの愛称募集を下記の要項により実施し、選考した愛称をちがさき環境フェア会場で発表しました。



<事業報告書>

- ▶[平成15年度事業報告書 \(PDF\)](#)
- ▶[平成16年度事業報告書 \(PDF\)](#)
- ▶[平成17年度事業報告書 \(PDF\)](#)

「エコ・ウィーク」の実施

◆実施期間 平成19年1月29日から2月2日まで
(上記期間、茅ヶ崎市役所本庁舎2階ロビーにて消費生活展が開催されます。)

◆対象 茅ヶ崎市民・市内事業者

◆内容 期間中マイバッグの利用を推進していただき、環境にやさしい街「エコ・シティ茅ヶ崎」を目指します。
※推進方法は各社自由に設定していただいて結構です。

◆「エコ・ウィークポスター」ダウンロード ▶[エコ・ウィークポスター](#)

「お買い物袋アンケート」の実施

◆実施期間 平成18年9月1日から9月30日まで

◆対象 茅ヶ崎市内小学校4年生 2,053名

◆目的 小学生が環境・ごみ問題を考えるきっかけとし、マイバッグの利用やごみの減量についての小学生の認知度を知ることが目的として実施しました。

◆アンケート票および集計結果はこちらをご覧ください ▶[アンケート票](#) ▶[集計結果](#)

マスコット愛称募集要項

◆募集期間 平成15年7月1日から7月20日まで

◆応募資格 茅ヶ崎市在住の中学生以下の方

◆応募方法 備え付けの応募用紙に記入して応募。

◆選考 当推進会議により、審査・決定。

◆発表 8月9日開催の茅ヶ崎市環境フェア会場にて発表しました。

わたしの名前は、

エコル です。



マイバッグ推進のマスコットです。

**みんなで名前を考えてくれてありがとう。
ぜんぶで1,107票の応募がありました。**

**「エコル」は…
「エコロジー」と「カンガルー」
「エコロジー」を「考える」
という意味から選ばれました。**

保育園、幼稚園、小学校、中学校のみなさん、また、商店会や大型店舗で応募してくださったみなさん、ご協力ありがとうございました。

レジ袋はどのくらい使われているのでしょうか？

レジ袋は、1年間に1人約300枚、日本中で約305億枚が消費されています。

レジ袋は何からできているのでしょうか？

レジ袋は、ポリエチレンやポリプロピレンといった、プラスチックでできています。プラスチックは、石油からできています。つまり、レジ袋は石油からできているのです。

どうして「マイバッグ」なのでしょう？

レジ袋は、全国平均で1世帯あたり1週間に11枚を受け取っているといわれています。

確かに、レジ袋には、商品を持ち運ぶ、汚れなどからの保護といった役割があります。しかし、その役目を終えたレジ袋は、どうなってしまおうのでしょうか？

レジ袋をゴミ袋として利用したり、品物を送ったり保存するときに梱包材のひとつとして利用する場合がありますが、ゴミ袋として利用されたものも含めて多くのレジ袋がゴミとして処理されています。

レジ袋は石油からできています。石油も大切な資源の一つ。マイバッグを持参して、石油製品の消費を少なくすることが、未来の地球環境を救います。

茅ヶ崎市のゴミ処理にかかる費用は？

<http://www.chigasaki-cci.or.jp/ccci01/ippan/ecol.html>

平成16年10月1日現在の茅ヶ崎市の統計では、年間で3,006,833千円の処理費用がかかっています。

これを人口で割ると、1人あたりでは13,208円になります(平成16年)。

ごみの排出量でみると、1人あたり、年間345kg、1人が一日あたり945gのごみを出していることになります。

レジ袋はどのくらい削減できるの？

茅ヶ崎市の89,022世帯(平成18年7月現在)が、月1回のマイバッグデーで、仮に1枚レジ袋を使わないと・・・

$89,022 \times \text{約}10\text{g (1袋)} = 0.890\text{t/月}$

$\text{約}10.6\text{t/年}$ の削減になります。(あくまで試算です)



エコ・シティ茅ヶ崎マイバッグ推進会議

茅ヶ崎市・茅ヶ崎市商店会連合会・茅ヶ崎商工会議所・茅ヶ崎市大型店連絡協議会・茅ヶ崎市消費者団体連絡会

[back](#)

[茅ヶ崎商工会議所トップページへ](#)